

平成22年度教育委員会事務点検評価(平成21年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

整理番号 1

事務事業の名称	生涯学習情報発信事業		担当部課	教育委員会 生涯学習部 社会教育課	
			電話番号	04-2953-1111 内線5673	
実施期間	平成15年度 ~				
総合振興計画における位置づけ	5章	人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H21~23)事業名	生涯学習情報発信事業	
	1節	生涯学習の振興			
	1項	生涯学習の推進	個別計画等の名称	生涯学習基本計画	
	1目	生涯学習の情報環境の充実			
実施根拠	社会教育法、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律				
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務				
事業開始の背景等	市民の生涯学習を促進する条件として、情報の提供が必要とされている。各公民館で活動する生涯学習団体の情報が一元化されていなかったため、平成15年度から情報の一元化と発信を行った。生涯学習の中間支援組織である「さやま生涯学習をすすめる市民の会」の設立を機に同会との協働事業とした。				

2 事務事業の目的・内容

目的	住民の学習活動を支援し、多様な学習機会を提供するため、市内で活動中の生涯学習団体の情報を収集・一元化し、市民に発信する。事業を生涯学習の中間支援組織である市民団体と協働することにより、中間支援組織としての力量を上げる。	
対象	市内に在住、在勤、在学する者	
活動内容	市内の公民館・集会所で活動する生涯学習団体のほか、体育施設で活動する団体の情報も加え掲載した冊子『さやま学びの仲間たち(平成21年度版)』を作成し、公民館等公共施設で市民が自由に閲覧できるようにした。	
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	継続
環境配慮	資料等を作成する際は再生紙を使用し、部数は必要最小限としている。	
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()	

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値の根拠・考え方
(活動状況指標)	掲載生涯学習団体数	目標値	団体	1,300	1,500	1,500	1,525	掲載は公民館・集会所・スポーツ施設等に限らず、生涯学習関連施設利用団体へ拡大を図る。
		実績値		1,438	1,484	1,509		
		達成率		110.6%	98.9%	100.6%		
(活動状況指標)	冊子印刷数	目標値	冊	200	200	200	200	閲覧できる場所を拡大していく。
		実績値		200	200	200		
		達成率		100.0%	100.0%	100.0%		
(成果指標)		目標値						
		実績値						
		達成率						

4 事業費

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
経費	直接費	予算額	千円	500	500	300	300
		決算額	千円	500	300	350	
		財源内訳	国県支出金	千円			
	その他特定財源		千円				
	一般財源		千円	500	300	350	
	人件費	従事職員数	人	0.22	0.22	0.20	
人件費(従事職員数×平均給与)		千円	1,972	2,018	1,839		
		事業費計(直接費決算額+人件費)	千円	2,472	2,318	2,189	
効率性指標	指標名	掲載生涯学習団体数	団体	1,438	1,484	1,509	1単位当たりの経費
	単位コスト	1団体あたりの経費	円	1,719	1,562	1,451	

5 事務事業の評価

第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
必要性	目的の妥当性 市民ニーズへの対応 市が関与する必要性 市が負担する必要性 など	4	狭山市生涯学習基本計画の重点プロジェクトに掲げられている事業のひとつである「市民活動団体情報の一元化」に即した事業であり、市民への生涯学習情報の発信に大きく寄与するものである。
		4	
有効性	活動目標の達成度 成果の向上 上位施策への貢献度 市民サービスの向上 など	4	活動目標は達成したが、市民への周知と利用の促進という点では、より一層の推進を図っていく必要がある。
		4	
効率性	手段の最適性 コスト効率の向上 受益者負担の適正化 執行体制の効率化 など	3	個人情報も含まれるため、情報提供者への説明と承認が必要なことから、情報収集等に時間を要している。また、情報のデータベース化はできているが、市民が検索できるような環境は整っていない
		3	
		< 5段階評価 > 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
今後の方向性	生涯学習団体の情報を掲載した冊子『さやま学びの仲間たち』に対する市民の認知度を増やすことで掲載団体数を増やすとともに、活用のより一層の促進を図る。またパソコン等で情報を取り出せるような環境を整え、狭山市駅西口公益施設内に設置する生涯学習情報センターでの活用を図る。		

6 その他(学識経験者の意見等)

生涯学習情報発信事業は、今後も引き続き重要な事業である。今後は、子ども、青年、成人、婦人、高齢者など、年齢や対象によって、情報の入手の仕方など、例えばメディアへの接し方などが、異なるため、多様な学習者に情報が届くよう工夫して情報を提供する必要がある。